

編集後記

私が腰痛研究を始めたのは今から30年前である。もちろん非特異的腰痛の割合は85%であり、多くが発生源を特定できないとされているなか、研究者が駆使してその原因を追究していた。腰痛の発生源として、椎間板、椎間関節、仙腸関節、硬膜などが考えられており、さまざまな免疫学的手法を用いて各々の部位における自由神経終末の存在が報告されていた。特に注目されていた話題は椎間板と神経根であり、国際腰椎学会でもその辺りは大分取り上げられていたと思う。診断方法はMRI全盛であったが、椎間板変性、Modic変性、high intensity zoneなどがいろいろと議論されていたが、相反するデータが報告されていた。その後、腰痛には心理社会的要因が多い、また高齢者の脊柱変形や筋減少による腰痛、骨粗鬆症性腰痛の存在などの議論が始まった。社会的背景として、心理社会的因子の腰痛は増えている。ただし、その診断方法は困難である。対応として認知行動療法があるが、依然として大規模研究による有効性がないこと、長期的な成績は懐疑的である。自身の脳での α 波の発生能力が認知行動療法の成績を左右するという結果も報告されている。高齢者の脊柱変形による腰痛は、アライメントに対する手術療法が有効であるとの報告は多いが、運動療法に関してはここ数年で徐々に報告が増えてきたと感じる。最近10年で骨粗鬆症治療薬が飛躍的に発展して、唯一この領域だけはゴールに近いように思う。近未来的な治療として、椎間板への細胞移植、椎間板変性の神経発芽に対してのdenervation治療、PRP療法などが進行している。有益なデータもあるが、まだまだ今後の検討は必要であろう。

(大鳥精司)

令和8年5月19日発行

関節外科－基礎と臨床－ Journal of Joint Surgery Vol.45 No.5

発行：年14回（年12回発行＋増刊号2回）

編集顧問 高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一／帖佐悦男

編集主幹 高平尚伸

編集委員 岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／岡崎 賢／國吉一樹／大鳥精司／兼氏 歩／谷口 晃

発行人 吉田富生

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30

TEL 03-5228-2050／FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp（営業部）

jjs@medicalview.co.jp（『関節外科』編集部）

印刷所 三報社印刷（株）／〒136-0071 東京都江東区亀戸7-2-12

- ・ 本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権（送信可能化権を含む）、譲渡権等は（株）メジカルビュー社が保有します。
- ・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
- ・ 本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（『私的使用のための複製』など）を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：（株）文 栄 社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-9-5 NK 本郷ビル5階 TEL 03-3814-8541